

大学院の現状と問題点

ひくい生活水準

研究を妨げるアルバイト

本学大学院の現状について、昭和35年度調査の結果、生活水準の低下が、研究活動に悪影響を及ぼしていることが明らかになった。特に、アルバイトの増加が、研究時間を削ぎ、学業の進捗を妨げていると報告されている。

動き出した

昭和35年度、本学大学院の学生数は、前年度に比べて増加傾向にある。特に理工系分野では、研究活動が活発化している。一方で、生活費の増加とアルバイトの増加により、経済的な負担が重くなっている学生も少なくない。

大学院学生

大学に独自の予算を

大学院学生は、大学に独自の予算を要求している。彼らは、研究活動に必要な設備や教材の整備、生活費の補助などを求め、大学当局と交渉している。この動きは、大学側の対応を迫っている。

矛盾した研究体制

大学院はその体制の底辺である

大学院の研究体制は、基礎研究と応用研究のバランスがとれていない。基礎研究には十分な予算が充てられているが、応用研究には不足している。また、学生生活の安定化を図るための支援体制も整っていない。



改革への道標をつづける大学院生

改革へ、まず白書作成

学部学生にも共通した問題

大学院生は、大学の改革に向けて、まず白書を作成することを提議している。この白書には、現在の研究体制の問題点や、改善のための具体的な提案が盛り込まれている。学部学生にも共通した問題点を指摘している。

日本を見る地方の眼

堀 洋

大部分の人が 安楽に閑居がない

私たちが日本を眺める時、地方の眼から見た日本は、都市部とは全く異なる。大部分の人が、安楽に閑居する暇がない。生活は忙し忙しと回り回っている。

そんな僻地を巡回公演

巡回公演は、僻地の人々に文化を届ける重要な手段である。しかし、交通の不便や観客の少なさから、公演の機会が限られている。大学側も、巡回公演の支援を強化する必要がある。

京大

発明・発見物語

京大の発明・発見物語。数々の偉大な発見が、この地で生まれた。その背景には、研究者の熱意と、大学が提供する環境がある。

④ 理学部 (その2)

素反応の微細機構

素反応の微細機構に関する研究が、最近大きく進歩した。新しい実験手法の開発が、この発見に大きく貢献している。

ベクマン転位

ベクマン転位に関する研究が、最近大きく進歩した。新しい実験手法の開発が、この発見に大きく貢献している。

コルベ反応の解明

コルベ反応の解明に関する研究が、最近大きく進歩した。新しい実験手法の開発が、この発見に大きく貢献している。



お医者さんにもなる?

パナール研究室長として五月に出版された 吉井良三氏

酒井鉄工所
水圧電用水圧鋼管
水道用 溶接鋼管
鋼 杭
取組社長 酒井芳中
大阪市西成区津守町西6-21

新刊 南山堂の優秀参考書	新刊 日本人体解剖学	新刊 人体の解剖生理学	新刊 生理學講義	新刊 生理學各論	新刊 病理學各論	新刊 薬理學入門	新刊 戸田新細菌学	新刊 新衛生公衆衛生学	新刊 公衆衛生学入門	新刊 内科	新刊 小児病	新刊 小兒科診断学入門	新刊 外科各論	新刊 外科各論	新刊 整形外科学入門	新刊 婦人科	新刊 産科	新刊 皮膚病性病	新刊 耳鼻咽喉科学	新刊 新法医学	新刊 精神医学入門	新刊 標準医語辞典	新刊 医学大辞典	新刊 英和大辞典
--------------	------------	-------------	----------	----------	----------	----------	-----------	-------------	------------	-------	--------	-------------	---------	---------	------------	--------	-------	----------	-----------	---------	-----------	-----------	----------	----------

616